

50人が参加 交流深める

JABMEE
設備女子会



「私のしごと」と題し、最近の仕事や働く母の一日などを紹介し、参加者と意見を交わしながら交流を深めた。

建築設備技術者協会（JABMEE）の「設備女子会」（設女会、徳弘洋子会長）は22日、東京都千代田区のSANBANCHOCOFFEEで第3回交流会を開いた。写真、設計事務所やゼネコン、設備工事会社、団体などさまざまな職場で活躍する女性約50人が参加。運営委員の宮坂裕美子さん（日建設計）が

冒頭、徳弘会長は発足から1年がたち会員が増えてきたことを報告した上で、JABMEEが行った小冊子「『建築設備士』活用案内」を紹介。「建築設備士が社会の中で活躍、貢献できる技術者であることを広く知ってもらおうと積極的に活用してほしい」と呼び掛けた。

設女会は昨年11月18日の「建築設備士の日」に発足した。女性技術者が情報交換・発信を行い、活躍の場を広げることで社会に一層貢献していくことが目的。賛同する女性であれば、会員・非会員を問わず誰でも入会できる。22日時点で178人が参加している。

日刊 建設工業新聞 2013.11.26

交流会で親睦深める

JABMEE設備女子会



建築設備技術者協会（JABMEE）の「設備女子会」（徳弘洋子会長）は、東京都千代田区のSANBANCHOCOFFEEで第3回交流会を開いた。写真、約50人が参加し親睦を深めた。

設備女子会は、女性設備技術者の情報交換・情報発信の場を設けることで、より一層の社会貢献を展開していき、と2012年11月の「建築設備士の日」に発足した。現在の会員数は178人。この日は、発起人の一人である大山有希子さん（山下設計）の乾杯の音頭で会が始まった。

徳弘会長が今月発行した小冊子「『建築設備士』活用案内」を紹介した後、宮坂裕美子さん（日建設計）が「わたしの仕事」と題してプレゼンテーションを行った。

宮坂さんは「（設備は）目に見えないもので、うまくいっているのが当たり前と思われるが、出来上がった後もお客さんとつながっていただけるのがメリット」などと話した。

日刊 建設通信新聞 2013.11.27